

「善玉悪玉踊り（性善説と性悪説）」

善と悪・戦争と平和を考える町民文化を浅草で体験してみませんか！



太平の約 260 年、
江戸の町民文化を支えた浅草で体験してみませんか

善玉悪玉を登場人物にした歌舞伎舞踊『彌生の花浅草祭』通称『三社祭』が書かれ、天保3年（1832年）に初演されました。善玉悪玉が愉快地に踊りまくる踊りは庶民のあいだで大人気となりました。人は生まれながらにして、善なのか悪なのかを論ずる哲学を踊りで表現します。中国で生まれた哲学が浅草で町民文化になりました。昨今の国際関係が不安定な現代で、浅草善玉悪玉踊りを「平和を考える」ために注目してみたいものです。上の漫画は中国春秋戦国時代の法家の韓非子が主人公李信に問うシーンです。ウクライナや中東ガザなど人が人を殺し合う戦争ばかりの世の中を嘆いてばかりではなく、一緒に町民文化で平和を考えてみませんか。

浅草日本観光コンテンツ協会

地域振興のための観光コンテンツの企画・開発を実践し、町おこしや地方の活性化を提案しています。

日本新舞踊協会

古典舞踊だけにとどまらず、創作舞踊・新舞踊・歌謡曲舞踊と幅広く舞踊で表現をし、日本文化を後世に残したいと願い活動しています。

東京都台東区浅草 1-37-8
TEL 03 (3845) 5291 FAX 03 (3845) 5293

文：佐藤公彦
監修：金井朋子
制作：佐藤公彦

舞踊「三社祭」踊り 浅草神社・神楽殿にて演舞予定

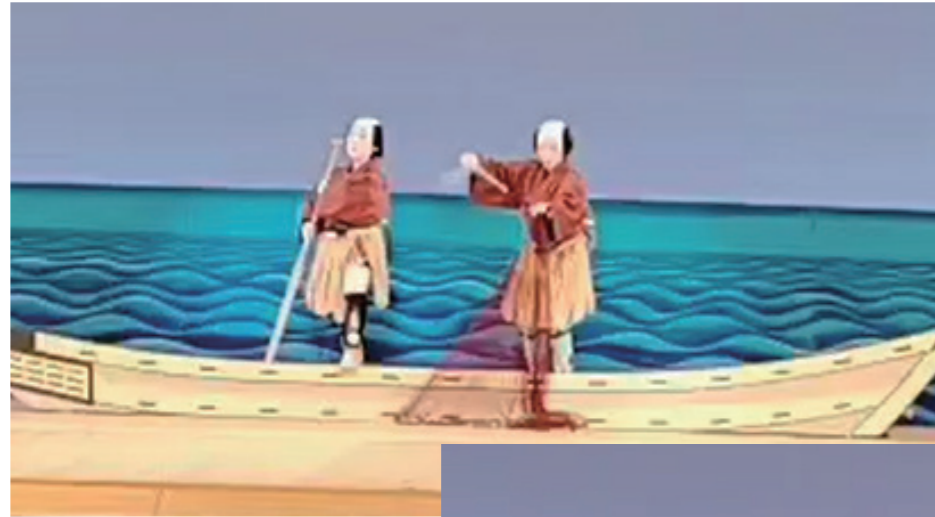
2024年7月2日16時頃夏詣期間中、浅草神社にて奉納
⇒18時より浅草ビューホテルアネックス六区にて演舞予定
舞踊：新川流家元 新川扇翁 坂東流名取 坂東秀恵美



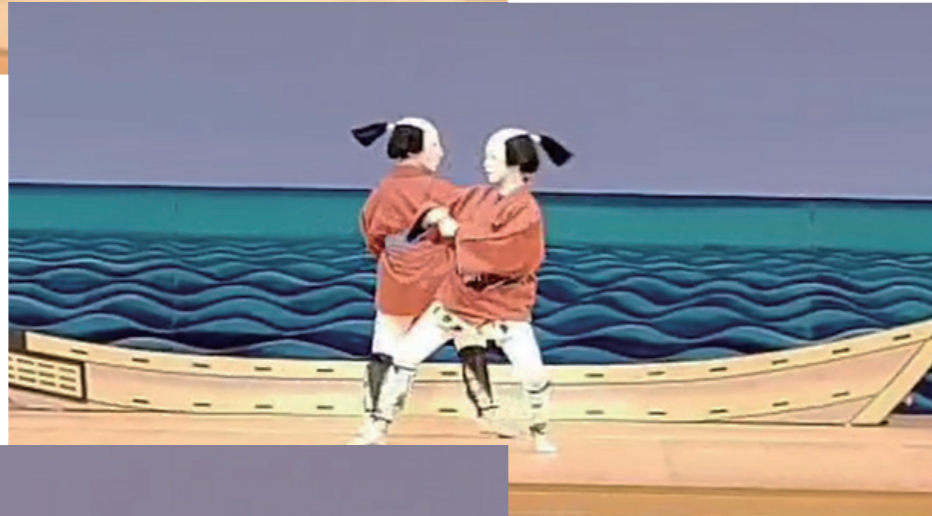
日本新舞踊協会

浅草日本観光コンテンツ協会

●浅草寺・浅草神社の起源の物語を踊ります



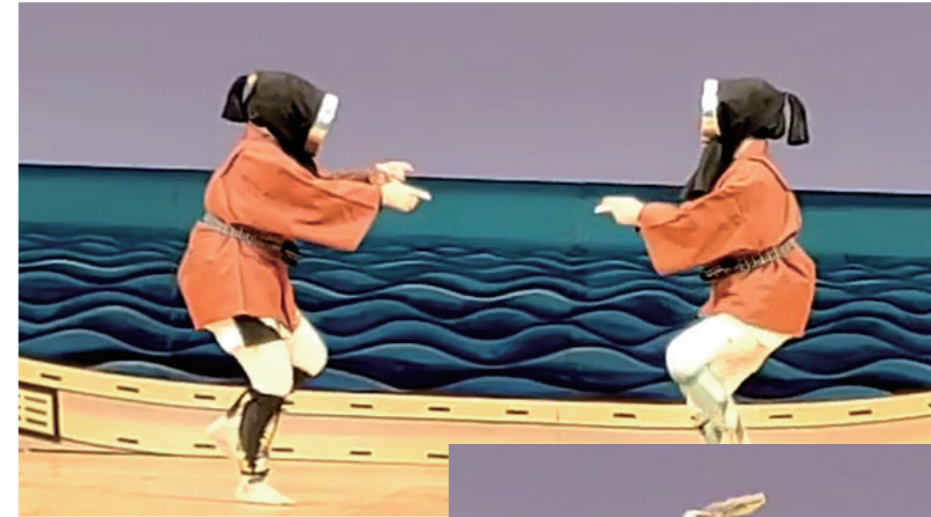
観音様を引き上げた
漁師兄弟



その漁師兄弟に
黒雲から降りてきた
善玉・悪玉が乗り移ります



善と悪の戦いになります



当時流行した「悪玉踊り」



やがて善玉と悪玉は消えて、
二人は舟に戻って幕となります

浅草神社・神楽殿

浅草浅草寺隣 浅草神社内

日時：夏詣期間中

2024年7月2日16時頃より予定

⇒浅草ビューホテルアネックス六区で

18時より開催予定

*皆様のご来場お待ちしております

古典舞踊「三社祭」とは

観音様の起源と、当時流行っていた悪玉踊りを組み合わせたもの。悪玉踊りとは、お面を付けた後の踊りで、観音様を引き上げた漁師兄弟に、黒雲から降りてきた善玉・悪玉が乗り移り、当時流行った悪玉踊りをするという、古典舞踊です。

古典舞踊って、何かひとつを踊るというのではなく、色々なものを取り混ぜて、1曲(1段)となっているものが、多いのです。江戸の洒落と言ったところでしょうか。

